

第65回登別市市民自治推進委員会 育み部会議事録

(敬称略)

開催日時	令和4年10月31日(月) 18時00分～
開催場所	アーニス 2階 あえる STATION
出席者	(部会長) 神谷博達 (部会員) 仲川弘誓、合田美津子、佐藤文子 (読書活動家) 松山哲男、高木三千子、須藤和恵、武者正樹、 松平孝子、河上邦子 (事務局) 大越智輝、佐々木健、相馬杏
欠席者	(副部会長) 大熊龍也 (部会員) 大坂倫一、磯田大治 (庁内委員) 館下貴子、古村健
議題	育み部会絵本コーナーについて
配布資料	第64回「育み部会」資料、(部会長作成) 北海道新聞・資料(部会員作成) 絵本コーナー開催時の写真、担当者のアンケート (事務局作成)

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

○会議の要点

1. 育み部会絵本コーナー「ブックファームあーにす」について
 - (1) 第9回絵本コーナー「ブックファームあーにす」の振り返り
 - ・10月15日(土) 10:00～12:00開催。
 - ・読み聞かせ担当団体は「おはなしぼけっと」
 - ・11時20分ごろより絵本コーナーの表彰式を行った。
 - ・当日の表彰式の様子は10月20日(木)の室蘭民報に掲載。
 - ・来場の親子は6組。絵本コーナーを目当てに来場された方が多く、賑わいを見せていた。
 - ・来場された方の滞在時間を延ばす工夫として、「布の絵本ボランティアの会」より布おもちゃを借用した。
 - ・現在の絵本コーナー開催時の会場の設営状況(敷マットの数)では、6組くらいが限界で、これ以上来場者が増えると手狭になってしまう。
 - (2) 絵本コーナー「ブックファームあーにす」における、読み聞かせに続く大きな取り組みについて
 - ①来場者が気に入った絵本を長期間貸し出しする取組
 - ・貸出数は1人1冊。

- ・現在、絵本コーナー来場時に記入していただいている「来場者名簿」に貸し出す絵本名も記入してもらおう。来場者名簿が絵本の貸出帳にもなるため、絵本コーナー開催時には過去の名簿も必ず持参する。
- ・返却期限については、原則次回の絵本コーナー開催時に返却することとする。ただし次回絵本コーナーに来場できない場合や忘れた場合は次々回に返却する。

②ねらい

- ・読み聞かせをする習慣がない保護者に親子で本に親しむきっかけを提供するため。

③検討課題

ア：「ブックファームあーにす」の蔵書であることを示すため、ロゴシールがほしい

- ・これまでの協議の中で、ロゴシール作成のため、先に絵本コーナーの愛称を募集した経緯がある。
- ・スタンプを作成するにあたって、スタンプのデザインを決める必要がある。
- ・以前、他の活動でスタンプのデザインを市職員に作成してもらったことがある。今回もその職員にデザイン作成を依頼できないか？
→事務局で確認することとなった。
- ・スタンプ作成は読書活動家紹介のところへの依頼を検討。
- ・蔵書にはシールではなく、作成したスタンプを本の見返しに押すこととなった。

イ：全ての蔵書を貸出対象とするか？

- ・市民より寄贈いただいた本であるため、シリーズものも含めて全ての蔵書を貸出対象とすることとなった。

ウ：その他

なし

(3) 育み部会絵本コーナー「ブックファームあーにす」のおける今後の「読み聞かせ」について

①現状

- ・現在は読み聞かせ活動を行っている3団体が毎月交代で読み聞かせを行っているが、徐々に負担となってきた。持続可能な活動とするため、新たな担い手にも協力していただく必要がある。

②対応策（案）

ア：当面の対応策として

- ・アーニス1階広場のテレビで放映している読み聞かせの映像を活用してはどうか。

イ：新たな担い手の獲得に向けて

○登別明日中等教育学校

- ・10月26日（水）に部会長と事務局で訪問。
- ・登別明日中等教育学校（以下、「明日」とする。）では、総合的な学習「総合」という時間があり、それぞれの生徒がテーマを持ち追求するために校外活動を行うことがあると伺った。
- ・育み部会の取組を説明し、絵本コーナーへの生徒の協力を依頼。

○明日からは以下の話があった

- ・基本的に「総合」で生徒が設定するテーマと育み部会の活動が合致していなければならない。例えば「保育・育児・読書」などが考えられる。
- ・「総合」では社会の形成者としての取組を重視しているため、高校生が大人に働きかけ、社会を動かす場となるよう、絵本コーナーを活用させていただくことも考えられる。
- ・その他、生徒会や図書館の学びや経験の場として参加することも考えられる。
- ・「総合」は個人の取組が中心のため、読み聞かせの担当として月1回のローテーションの一角を担うことは難しい。
- ・現在の読み聞かせを行っている3団体と同じレベルの読み聞かせは期待しないでいただきたい。若さだけが売りである。
- ・育み部会としては、まず絵本コーナーを見学をしていただき、そこから現在読み聞かせを行っている団体と学生が共演することも可能である。明日の学生が学びの場として、育み部会の取組を活用することに協力したい、と話をした。
- ・現在、この件について明日の返答を待っている。
- ・登別市市民自治推進委員会では昨年は産業躍動部会、今年は都市調和部会でも明日の生徒の協力をいただいている。

○登別朗読ボランティアの会

- ・読書活動家の方からご紹介いただいた「登別朗読ボランティアの会」（以下、「朗読ボランティア」とする。）について、以前に絵本コーナーを参観していただいた。次回11月19日（土）の絵本コーナーにも、参観を読書活動家の方から依頼済み。
- ・朗読ボランティアの方が以前絵本コーナーを参観した際に、絵本コーナーで行っている読み聞かせと朗読ボランティアの朗読に違いがあるため、絵本コーナーで朗読を行うことは難しいとおっしゃっていたとのこと。
- ・朗読ボランティアへ読み聞かせを依頼するのであれば、朗読ボランティアが担当する時は、「大人の絵本コーナー」として開催するのはどうか。
- ・年に何回か大人を対象とした絵本コーナーを行うのも良いと思う。
- ・絵本コーナーで読み聞かせをするだけでなく、おもちゃなどで遊ぶ場を提供するのであれば、朗読ボランティアだけで読み聞かせを担当することは難しいと思う。本の読み聞かせを朗読ボランティアが行い、おもちゃなどで遊ばせることは、他の団体や部会員の協力が必要である。
- ・初めから読み聞かせ担当団体として参加するのではなく、明日と同じように共演という形で始めてみるのはどうか。
- ・1月の絵本コーナーは、「おはなしぼけっと」が担当する予定であるが、その時に大人の読み聞かせも考えている。「絵本を楽しむ会」という団体に協力していただき、大人への読み聞かせを「絵本を楽しむ会」が行い、その間は「おはなしぼけっと」が子どもの託児をすることを検討をしている。この取組が好評であれば、

大人だけを対象とした絵本コーナーを開催するきっかけとなると思う。

○絵本を楽しむ会

- ・毎月図書館で「絵本を楽しむ会」という活動を行い、大人のための読み聞かせを1時間ほど行っている。
- ・絵本を楽しむ会のメンバーには、朗読ボランティアの方もいる。

(5) その他

- ・読書活動家より、絵本コーナー開催時に「布の絵本ボランティアの会」より借用している布おもちゃについて、破損などが見つかった場合は、返却時にメモや付箋などで破損箇所を知らせていただければ修理していただけるという話があった。
- ・「布の絵本ボランティアの会」では、作成した布おもちゃをチャリティー等で販売し、その利益を材料費に充てているが、新型コロナウイルスの影響もあり、布おもちゃを販売できる機会がなく困っている。販売できるような機会があればいただきたいとのこと。

(6) 今後の予定

11月19日(土) 10:00～12:00 読み聞かせ担当：EHO ボラ

12月17日(土) 10:00～12:00 読み聞かせ担当：おはなしりぼん

2. その他 連絡等

なし

3. 次回の育み部会について

日時：令和4年11月25日(金) 18:00に開催

場所：アーニス2階 あえる STATION